



研修・イベントレポート

解剖見学報告

教務部長 尾崎朋文

解剖見学は、毎年9月に在校生と共に行われていましたが、大学のカリキュラムの変更に伴い、本年度は4月に下記のとおり実施しました。

校友会会員を対象とした解剖見学は、卒業教育の一環として、日頃の臨床での解剖学的な疑問を、臨床にフィードバックしスキルアップすることを目的として行っています。ご指導いただきました大阪大学歯学部第二口腔解剖学教授の吉田篤先生、ならびに講師の森谷正之先生に厚くお礼申し上げます。

記

日時：鍼灸学科 平成17年4月16日(土) 午前9時50分～午後4時 柔道整復学科 平成17年4月23日(土) 午前9時50分～午後4時

場所：大阪大学歯学部解剖実習室

参加者：(敬称略)

鍼灸学科：榎本明子(1期昼)、藤川直孝(1期夜)、角田美恵子(3期夜)、後藤利一(13期昼)、後藤シ子(13期夜)、
渡辺真二(20期昼)、須磨弘(21期昼)、栗本太(24期昼)、平木治朗(24期夜)、吉村知子(29期昼)、梶浦慎一(29期昼)、
長谷川俊也(29期夜)、松本政己(30期昼)、齋藤雅光(30期昼)、中西一博(30期夜)

柔道整復学科：齋藤秀剛(1期夜)、吉尾進(1期夜)、根来章(2期夜)

合計18名

大阪府鍼灸師会 学術講習会に参加して

鍼灸学科 昼間部 3年 木村あきよ

大阪府鍼灸師会主催の学術講習会が、7月31日(日)に本校で行われました。講師は長年日産玉川病院で数多くの鍼灸師の育成にあたられ、現在は東京世田谷区で開業なさっている山田勝弘先生。テーマは「椎間関節性腰痛の特効穴」でした。玉川病院の鍼灸室は今も無いようですが、現代医学的な鑑別をきちんとした上での鍼灸治療について書かれた本には、玉川病院出身の先生方がよくお名前を連ねておられます。そういう所で長年指導にあたられた山田先生のお話と実技を楽しみに参加しました。当日は用意された教室も席が足りないほどの大盛況でした。

玉川病院ではレントゲンを撮って患部を確認し治療されていたのが、それができなくなって、レントゲン無しでもわかるようにと考案されたのが「腰仙椎手掌叩打診断法」です。手をゲンコツにして中指のPIP関節で棘突起を順番に叩いて、「痛っ!」という所(=異常脊椎)を探し、その上下の棘

突起のきわと、その斜め下方に出る圧痛箇所を主な治療部位とします。そこに置鍼、運動鍼(置鍼したまま局所をゆっくり動かす)、パルス、施灸をして、最後に局所刺激を和らげるために、誘導法として末梢穴(例えば腎経の太谿など)にお灸をするのが、だいたいの治療の流れです。

山田先生のお話は解剖学がベースなので納得しやすく、参加者のどの角度からの質問にもよどみなく丁寧に答えられて、長年腰痛治療を研究された経験と学識の深さ、確かさが感じられました。しかもユーモアがあって、「私が腰痛の治療してもらったら、こんな先生がいいな」とつい思ってしまうようなステキな先生でした。

被験者の方は、治療後、本当に腰痛がずいぶんと楽になった様子でした。お見事!

『市民公開講座』開催

学生支援課 川鍋史一

去る8月23日(火)から26日(金)までの4日間、大阪市東成区生涯学習推進区民会議/森ノ宮医療学園主催の「市民公開講座」が本校で開催されました。国の推進する生涯教育の一環として、大阪市では区ごとに、その区内にある大学、短大、専門学校とタイアップして実施しているものです。しかしながら東成区には専門学校が本校を含めて2校しかなく、昨年末に東成区からの要請を受けて今夏の開催となりました。

「体験!東洋医学講習会」と銘打たれた講座は

「①からだにやさしい鍼灸」

「②家庭でできるツボ療法」

「③今こそ漢方医学」

「④ツボのつぼ」

の4回講座で行いましたが、募集定員30名のところ3倍近い問い合わせがあり、最終的には42名の参加者での実施となりました。夜7時から1時間半の講座(③「今こそ漢方医学」は午後2時から1時間半)でしたが、皆さん熱心に、夜とはいえ残暑の中を4日間続けて通ってこられました。

「①からだにやさしい鍼灸」では、はり・きゅうの入門講座としてからだにやさしい鍼灸治療の特徴についての説明を、「②家庭でできるツボ療法」

では実際にツボを刺激することで、頭痛や肩こりなどが軽くなることを体験していただき、「③今こそ漢方医学」では漢方医学についての説明を、「④ツボのつぼ」では「ツボってなぜ効くの?」という皆さんの疑問にお答えする、という内容で、それぞれ実施されました。

参加された方の年齢層は40代から50代の主婦を中心に女性が大半を占め、なかには仕事帰りに駆け込んでこられる方もおられました。皆さんひじょうに前向きで、熱心に受講されている姿が印象的で、本校の講師陣も普段より力の入った(?)講座になりました。

